

「科学雑誌で学ぶ日本語 II」 作文練習 02

木下大輔

2022 年 02 月 23 日

1 第一問

「膨大なデータからさまざまな顔の特徴や位置関係の傾向といったパターンを自動的に学習し、情報をあたえればあたえるほど性能が向上する。」という文がありました。「…ば…ほど」を含む文を作りなさい。

2 第二問

「また、DNA には本人すら知らないような病気のかかりやすさや、将来の世代まで受け継がれる遺伝情報などが含まれ、『究極の個人情報』ともよばれている。」という文がありました。「…すら…」を含む文を作りなさい。

3 第三問

「どれだけ時間がたっても未解決事件の容疑者を特定できる可能性があるのだ。」という文がありました。「どれだけ…ても…」を含む文を作りなさい。

4 第四問

「現代の犯罪捜査は、科学技術なしにはなりたたない。」という文がありました。「…なしには…ない」を含む文を作りなさい。

5 第五問

「試料に粉末を付着させたり試薬と反応させたりすることなく、特殊な光をあてるだけで指紋などが浮かび上がって見えるというものだ。」という文がありました。「…だけで…」を含む文を作りなさい。

6 第六問

「可視光だけでなく紫外線や赤外線もよく用いられる。」という文がありました。「…だけでなく…」を含む文を作りなさい。

7 第七問

「従来、ALS の機材は高額だったことなどから捜査の第一線への配備はあまり進んでいなかったが、最近では価格もさがっており事件現場での活用が期待される。」という文がありました。「…あまり…ない」を含む文を作りなさい。